

## 彫刻家と画家

きく人

向井修二

〔画家〕

★左・中田君 中央・平田さん（インタビュアー・アトリエにて）



今回は、我々の生活の潤滑油的イタズラ（ムダ）をテーマにし、イタズラにかけては有名な次の二人に登場してもらった。

**平田洋一さん**（三十二才）―時々ひげをのぼしたり剃ったりしている男。彼の職人的技術は、会社（マネキン製作）を一カ月のうち半月も休むのにもかわらず彼を離さないところを見ると、その技術を高く評価しているらしい。彼は大変な女性崇拝者で、女性を追いかけるけれども、女性には「ボクの好意を感じると必ず逃げ出してしまふんです」といつもボヤク。欠点は、風呂に入るのが嫌いなことで、それが奥さんの悩みとか。彼のとっくんているのはプラスチックで作った虫を貼りつけた作品。

**中田和成君**（二十一才 大阪教育大学美術科三年）―平田さんの小型のようなタイプ。現代風バンカラといっているような学生で、イタズラ（彼流のサービスピ精神）が生きがいのような憎めない男。たえず彼女からのラブレターを身につけているところを見ると、意外と純情な青年だ。彼の場合はコンドームに似たゴムの作品が多い。

とかくこの頃の作家は、変に力んで無理をしているような人が多いけれども、二人とも自分のやりたいことをやり、一見ハレンチなようであるけれども頼もしいかぎり。何しろきわどい会話が続出したので、残念ながらその部分はカットした。

★まず君のよくいたずらした話から聞かせ願いたい（笑）

中田

天王寺の公園で、暗闇の中を友達四人と歩いてましてん。全然おもしろいから、何かおもしろいことしようというて。車が向うからちやうど走り出したところで、ゆっくり来てましてね。ボクの好きな座頭市の真似でガタガタ歩いて行きましたん。ほんなら急に灯がともって、それでも目をうつむいて見えへんからひかれそうになるまで行きましたん。そしたらパーンとあたってしもて。それがバトカーだったんで、ボク今まで足ひきずってたのに逃げましてん。それから公園のアベックがよういちやつている所へ隠れて、膝まづいていたらとうとう警官に捕まりましたね。初めからバトカーやったらそんなことしません言おうと思っただと二人やっだし、ニタツと笑いましたん。いたずらも愛嬌やと思うてますねんけど。

★ほかには？

中田 一番ええのは、ビヤガーデンでバンドがおもしろなかってね。ボクそこでね「おっちゃん、いっちゃん、ういーたさ見たさに恐さを忘れ」をやって、頼むわ」いうてね。そこで一枚ずつ脱いでいってね。そこでみんなバンドがおもしろなかつたのでガゼン楽しなってきてね。

平田 注目的やね。全ストで……。

中田 ファンみたいなのがきてても。お菓子やるわいたり、ビール飲ましてくれたり、興奮しても荷物忘れたり。サービス精神旺盛ですねん(笑)荷物は返そうと思っただけ駄目だったので持って帰りましたん。大したものが入ってませんでしたが。

★電車の中で、若い男性が大体一回はやるようなこと(マスターベーション)を公然とやったそうだけだ。

平田

あれは時間も大分過ぎてて、十一時頃やね。神戸行の阪神電車、各駅停車ね。そしたら前の方で男の人と女の人がいちゃついているわけね。見るに見かねて、ほんならボクたちもひとついくかいうて……別々にいざ勝負……。(笑)

中田

真向いのおっさんが一番ものすごく喜んでしもて。それがものすごく紳士ですねん(笑)

★どういうつもりでそういうことしたの？

中田 サービス精神が旺盛ですから、みんながしょんぼりしてましたんで、みんなが楽しんで、それでボクも楽しむと……そこへ正義漢が現れましてね。どこにでも現れますすでしよ、そういう時。

平田

顔は悪かったけど、正義の味方「月光仮面」のような(笑)

中田

ボクはボサツとしてたけど、平田さんが「あんたもやらないよ」というて。その人、何いうていいのかわからんようになってしもて。

平田

その人が出て行ったら張り合いがなくなってもて、じゃボクたちもやめようかいうて。いたずらでも、中田君のは人を傷つけないからいいよね。

★君の場合、教育大学でしょう。先生を養うわけだけ

中田

ど、君まったく先生になる気ないの？

平田

ボク子供ものすごく好きです。

★なにが寮の生徒から金を巻きあげたとか。

中田

酒飲むのにお金なかつたんです。ボク一人校門の所に「寮生は栄養不足で大変困ってます。皆さんのカンパご協力願います」とガバチョと書いて、ボク一人机置いて、看板の横に立ってましてん。

「寮生のためですから、いいやろ」

平田

というて強制的に。そしたら先生も百円とか二百円くれましたんで。それで千五百円ほど集まりましたんね。

★平田 たった千五百円か(笑)

中田

そこが可愛らしいところで(笑)

平田

ボクが聞いたのは一万五千元だったけど、話は大きなもんやね。それで？

中田

後でそれがバレて、寮のボスから詫言状を書けといわれて、ちゃんと顔写真も入れて「寮生の名前を騙って、千何百円徴収したことを認めてお詫びします」というて書かされましたん。

★君は女の子にはどんないたずらするの？

平田

四国の高知で美術展やってたんですよ。中田君が



鏡を持って女便所へ忍び込むわけですね。忍び込む術というのがむずかしいんです。チヨロチヨロと見渡してスツと入るんです(笑) 便所が前と後に並んでいて、彼は後の方に入って鏡をそっと入れてじっと待ってるんです。お盆を持つようにして持ってるわけですね。それが後で知ってる女の子にバレても、何色だったか聞かれた(爆笑)

★平田さんが結婚したのもいたずらですか(笑)

平田 いたずらでしょうね。やっちゃまう結婚だなあ。チヨイチヨイちょっかい出して、気が付いた時は子供が出来た(笑) それも一度は墮ろしてもいいけど、二度、三度となったらやっぱりいかん。案外道徳的やね、その点は(笑) じゃ結婚しようかいうて、彼女には確か恋人がいたらしいし、ボクも名前言ってもいいけど(カット) その娘にボクはすごく惚れてた。その気持たるや間々として、どこにも訴えようがない。それで安物の飲み屋に女の娘がいてね。通ってるうちに知らんまに寝た。朝起きたら旅館だった。あれ、二、三べんでやめといたらよかったね(笑) それも度を越すとやっぱり結婚ということになる。いたずらでなくなるんだね。いたずらがほんまもんになって。別に今、惚れてるわけではないですよ。

中田 のりけられてるようなもんやね。

平田 ただいたずらに生活して、ボクはすっかり駄目になっちゃった(爆笑)

★平田さんはお勧めしているらしいけど。

平田 会社へ行く時間以外はお酒飲んでテレビ観てるんですわ。子供がいたずら覚えるんです。お金たまたま持って帰って子供にいたずらにいうんだよ。「これ一万円札だよ。こんないらないからおまえにやるよ」というわけ。それを見てええカッコしてるし日頃見たことないから「お父ちゃんこれ百円札十枚位か?」「そんなもんやなあ」そういって会社へ行ったんですよ。それで会社へ行ったら女房から電話がかかってきたんや。「お父ちゃ

ん、えらいこっちゃ。一万円ないねん。あんた持って行ったんやろ」「いいやオレ千円しかもってない。オレは多分子供やろと思うけど」といったんですが、子供は全然白状しなくて。テレビ観てるせいかテレビの後に隠してましてね。これが来年小学校へ行く子やからね(笑)

★平田さんは彫刻家だし、中田君は彫刻家を目指してるんだけど、何か職業的な話をして下さい。

平田 ボク、アメリカコンプレックスだからね。巨大主義というのが今はやってるでしょ。ビツクリアードでしょ、あれ。それに対抗するんだったら、長さでいけばいいと思う。例えば日本の鳥取の砂丘にボクの作品の頭を出して、サハラ砂漠にシツポを出す。それを飛行機で往復して写真を撮る。ザ・ロングスト・イン・ザ・ワールドとか(笑)

★それはおもしろいなあ。反対に地球を小さくしてしまおう願いですね。

平田 君はえらい人のことを「おっちゃん」というけどえらい人のことは「先生」といわないかんや。美術館の館長に「おっちゃん、こっちはおいでよし」なんかいうのはいたずらのもんだよ。

中田 そんなこといった覚えはないけどなあ(笑)

★今、一億円の金ごろがり込んできたらどうする?

平田 とりあえず、ゼロの数がいくつついてるか数えます(笑)

中田 資本金一億円の会社を創って、バカデカイ、コンムードを一個作って、出来上ったらその会社を解散する(笑)

★ボクだったら、人類の世界平和のために使いたい(笑)

今一番欲しい金どれ位?

中田 帰りの電車賃(笑)

平田 百万円以内ですね。小額紙幣でもらって、子供がベタンやるみたいにやったり、立ててみたり、横に並べたりして「金の色は移りにけりな……」「はい」といってカルタみたいに取るか(笑) そんなのやってみたらカッコいいやろな(笑)

# UNE DANDY CORNER

クネ ダンディコーナー  
〈紳士服飾〉

★神戸店=元町通1丁目64

TEL(078) 33-2677

★東京店=東急百貨店日本橋店1階

TEL(03) 211-0511 内線318

東急百貨店本店6階(渋谷)

TEL(03) 462-3435

## ★男の話題

### SHOSE SHINE

ほこりっぽい春になれば、ダンディにとってきになるのが靴の汚れ。

靴の光っているぐらゐ気持のいいものはない。

さて、三宮界限で、バッグに上手い「靴磨き」をお教えしよう。

トア・ロードのパウリスタの山側にある「靴磨き」は、親父と息子のコンビ。それにどちらかが休みのときは息子の奥さんがひかえている。

料金は70円。「とにかくお得意さんが多いので、材料の悪いのは使えまへん」とおっしゃる。

みがいた靴はピーカピカ。

まづ一週間は平気。さっと布でふくだけでみごとにひかっている。紳士靴専門店のヨシオカさんが推せんしてくれる「靴磨き屋」さんだからご心配なく。

## ダンディ訪問★河野幸男君

河野君はまだ学生だが、ヤング・マンにふさわしいラフなおしゃれで現われた。黒に近いグレーのブレザーにグレーのズボン。白いシャツに、エンジのアスコットタイというスタイル。「ジーパンをはいて丸首のボロシャツにカーディガンなんてのが一番好き。ネクタイを結ぶのはどうも…。ブレザーでさりげなくという感じね。色は黒、グレー、白。若いうちは地味な色で、中年になって腹でも出ちゃったら若い明るい色をきたいな」「おしゃれポイントは?」「ぼくのポイントは靴。靴は自分でみがく。はく靴がきまったら、それにあわせて服のスタイル、色をきめる。だからボクは、男の子は靴をきれいに、女の子はハンドバックをノというのが基本のおしゃれ感覚です」「趣味はヨットだって?」「そう、ヨット、車など「動き」のあるものが好き。女の子も……好き」とニコリ。



### SHOPPING

「うネ」のウィンドウに、春の男子服飾がそろいました。

ビジネスウェアは、チャコールグレーが変らぬ人気を保っていますが、ブルーグレーの系統も多くなってきました。スプリングコートも、ブルーグレー系統と、薄いライトカラーのグレー、グリーン。またリバーンブルのコートが出ています。英国のパーバリー社の独自のパーバリー色のコート、裏にチェックを合わせたスリーシーズンコートなどが若い方から年配の方まで喜ばれています。

素材としては主にツイード、ギャバ、ベネツェランがあります。

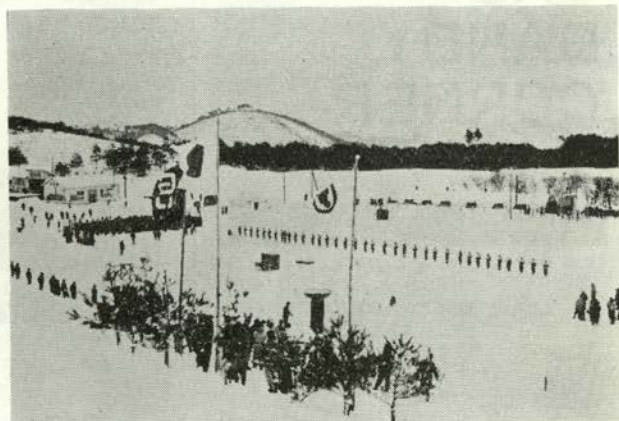
ブレザーは明るい色のツイードが多く、新しい傾向としてはチェックが増えてきたことです。

「うネ」では、紳士のおしゃれが楽しめる、新しい傾向のカラーパターンを豊富にそろえています。ぜひお立寄りください。





# 神戸遊戯誌 54



写真上・一九六五年に神鍋スキー場で開かれた第二十回  
国民体育大会、冬季大会スキー競技会  
中・開会式、中村県スキー連盟会長を先頭に、競技  
役員の手により、国旗・大会旗・県旗の正々堂  
々の入場行進  
下・ジャンプ競技

## ★山スキーから今日のゲレンデへ

大正末期ごろから昭和初年へかけて、六甲スキー倶楽部によって刊行された「雪のささやき」という機関誌は、当時のスキーの宣伝と普及に大いに役立ったもので、有益な記事が数多く掲載されたが、なかには今日からみると、全く奇妙で微苦笑ものの文章も読まれた。たとえば、大正十三年刊の同誌第三巻（大阪市北区高垣町5-4・吉田義治編集兼発行人、定価六十銭）の中に、「スキーの友へ」（東孝太郎作）という文章があるがその中に、次のように書かれている。「スキーのためにケガをした人を見たことがない。たまたまスキーで不幸な目に遇った人の話を聞いてみると、それは正式に練習したことの無い人があるいは生意気なことをした人に限る。このようなことで失敗するのはあえてスキーに限

ったことではない」「わが国のように年中ゲタをはいている人種は、中には足を挫いてビッコになったからとてこれがためにゲタを危険だという者がない」……。いやはや、驚き入った気持ちの使いようだが、自転車が初めて登場したときと同じ理屈で、慣れぬものには最初不安と危険の念が伴うのは当然のことといえよう。また、昭和四年十二月に神戸スキー倶楽部が刊行した「スキーゲハイムニス」第二号（神戸市小野柄通四丁目三八・同倶楽部刊、定価一円三十銭、編集兼発行人高川秀夫）の編集後記に、「山に縁深い都市に住む関係上、われわれとしては山スキーに進出することを最も妥当と認め、これがために貧弱なる経験をも顧みずあえて一文を草したしだいでもあります」と、まるでスキーをやり出したことが悪い事でもあるようなことわりめいたことを書いて

いるのも、なにかほえましい気がさせられる。

ところで、当時はまだ山スキーが圧倒的に盛んで、ゲレンデはようやく各地に作られ始めたころだったが、山スキーの連中から見ると、ゲレンデ・スキーはなんだか子供っぽく見えたものか、「あれは晶スキーだ」といつて嘲笑したものだ。従って関西方面の山スキーも大いに流行したが、兵庫県下もその例にもれず各冬山へのスキー登山家はなかなか多かった。上述の「スキーゲハイムニス」にも「瀬川山と鉢伏山」という題で中山魏氏が、北村喜八、直木重一郎、吉川美雄、赤星清人氏ら十一人と共に両山へスキー行したことを書いているし、三木高嶺氏ほか十四名が鉢伏山や八鹿から瀬川山へスキーしたことが書かれている。また、同誌の「妙見山から蘇夫岳縦走記」(直木作)には三月下旬に直木氏ほか三名の行なったスキー登山が実に実感あふれる表現で次のように紹介されている。「妙見山側の標高千メートル地点附近より金山峠、蘇夫岳へかけた一帯はすべて妙見山方面と山勢を異にし、大樹なく、雑草の生えた小起伏の連続で、眺望絶佳、まるで六甲ゴルフ場の延長と思っておればまちがいはない。積雪は地形の関係ではるかに少ない。ところどころ雪が消えて若草の上をスキーで歩まねばならぬこともあった。だが、三月の初旬なら、積雪もかなりあることだろうし、絶好のゲレンデはいたるところに取り残されている。当時は神戸から同地方へ出かけるのもなにか非常に遠いところへ旅行するように思われた頃だから、山スキーもなかなかロマンチックな思い出につながっていたわけだ。両誌が作られた頃には冬山登山向きの新刊書も多く出ていたが、なかでも「屋上登攀(はん)者」(藤木九三著)、「氷と雪」(加納一郎著)、関西スキー界の新しい指導者だった船田三郎氏の「スキー登山」の三書はスキーヤーの必読の書とされていた。「雪のささやき」第四卷(大正十五年刊)にのせられたジョン・シュナイダーの「横飛びする右側方向転換」などもスキーヤーに教えるところが多い記事だった。さ

で、全体的にみて関西はスキーシーズンが東北・北海道方面に比べて短かいため従来共いスキーヤーが生まれないことは当然といえるが、全然スキー競技の上で優秀選手が生まれなかったというわけではない。昭和七年関西卒の秋山岩人氏は当時の関西スキー競技界の各種目の記録を独占したものの(現在は名古屋で研磨業)だし、前回書いた大正末の名スキーヤー緒方兄弟は神戸一中の出身である。また、兵庫県出身でないのは残念だが、鳥取県出身の今日のアルペン競技のホープである大杖美保子(日大)正彦(慶応)姉弟は二月下旬インスブルックで開かれるユニバーシヤードへ遠征することになっている。各選手こそ少ないが、兵庫県スキー連盟には現在七十団体(ほとんどが職域)もあり、神鍋山のスキー人口が三万人以上で全国一であることなどを見れば、将来頼もしく思われることも事実だろう。だいたいスキーはこども時代からやらねばダメである。オリンピックのアルペン競技の優勝者である猪谷千春選手にしても、上州の出身者でこどものころからスキーに親しんだうえ、長じても外国へ行って年中滑っていたからこそあの成績を挙げ得たのである。

最後に、今日までの兵庫県下のあれこれスキーヤーを拾ってみると、まず、現在県スキー連盟会長の中村俊夫氏(弁護士)は昭和二年に三十歳で結婚して以来今日まで四十年間スキーを楽しんでいる最年長者だし、昭和初年からのベテラン組には、前田浩(県山岳連盟副会長)、井川保(神戸アルペン・スキークラブ会員、イカワスポーツ用品株式会社)、杉浦実(スギヤ婦人服飾洋品店)三氏らがいる。大正末カラフトから来神して、湯村温泉でじつに軽快なスキーを講習会で教えたのち、兵庫県から東京までスキーをしながら行った桜庭留三郎氏のことも忘れられない。女性では昭和初年の山岳登山家の黒田初子さんがスキーがじょうずだったが、デザイナーの田中千代さんもスイス仕込みの技術で当時のスキーヤーの注目を引いたものだった。(四三・一・二三)



# 神戸うまいもん巡礼

赤尾 兜子

にぎりずしの巻

神戸ですしといえば、まあにぎりずしを指すと思っ  
ていいだろう。上方の伝統である。「押しずし」はほん  
の一部の店にしかない。魚介にめぐまれたところだけ  
に、東京風のにぎりが盛んなのである。

すでに幾店かを書いたが、今月はそのつづきとして二  
店をあげる。

「おちよぼ」(生田区中山通一丁目)は開店いらい十

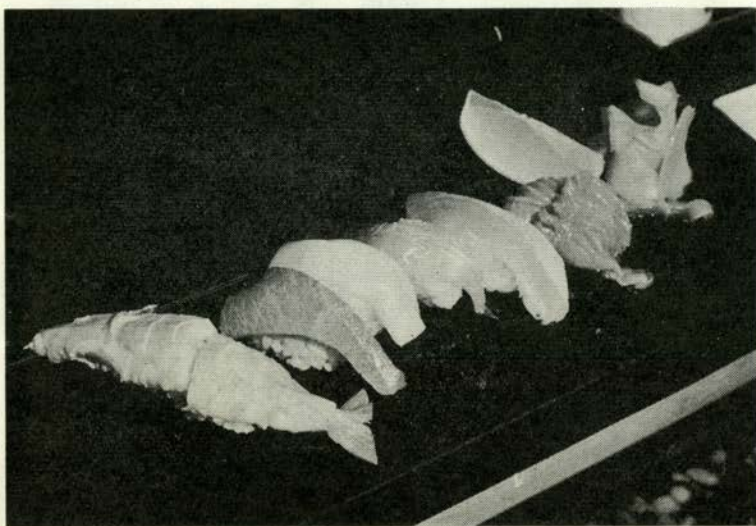
年。三宮のバー街のなかにある。風変りな店名。〇〇ず

しという常識的な店名に抵抗、場所がら女性客を見込ん  
で、その小さな口でも食べられる小型ずしの店というこ  
とで名づけたが、多くの客からそのゆらいを聞かれるら  
しい。

神戸生まれの四十過ぎの主人が「アイヨ」の一つ返事  
でにぎる。ケースのなかにその日のネタが並べてあると

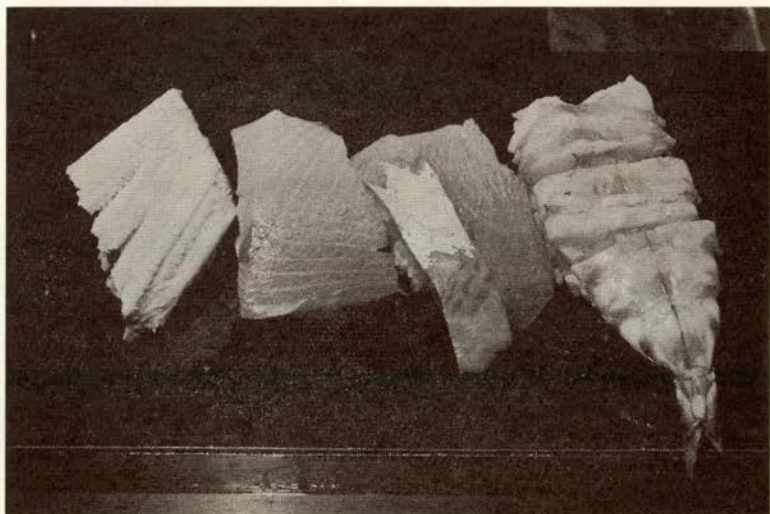


上は実質的な「おちよぼ」店内と主人・下は「おちよぼ」の小型ずし





上は鉢巻でいせいの良い清やんと奥さん・下は部厚い「清やん」のにぎり



ころは、おおかたのすし屋と同様。季節の白身の魚、えび、タコ、赤貝、イカ、あなごなどを三秀大ぐらいの可愛いすしにして出す。まぐろ、うにをのぞいて一個が三十一五十円。

奥のほうに、簀（みの）などがさけてあるが、飾りたてのない店で、客席は十五人ほど。実質的なすし屋の風情である。

この主人、アクアラングが趣味で、北海は隠岐、南海は紀州一円の海底へもぐっており、つくづく瀬戸内海がよごれていることをその海底見聞から嘆いている。

いぜんは無口だったが、このころはかなり口を開く。

魚についていい眼をもっており、それだけに吟味十分。さしみ、ぶりの照り焼もい。午後六時開店、午前一時まで。男性客も多い。

あと一店は「清やん」（生田区北長狹通二丁目）である。国鉄高架下にある十人ばかりで満員になる店。明治生れの主人は十四才から庖丁をもち、むかし南京町で魚屋をしていた。

その経験を生かして十年前にすし屋と相成った。「うちのすしは魚の上をめしをおいたようなもんや」とズバリい切るが、その通り、ネタとはいっても、ここのそれは、バカでかい。そして肉が厚い。左手使いの包丁で魚介をズバズバ切って、こつてりと飯をくるむ。

店名の清やんが、鉢巻姿で、客と珍妙な口のやりとりをしながらにぎってゆく。常連客が多く、ネタが切れると、それでその日はおしまい。一個五十一百円。午後六時の開店、八時ごろまでにゆくほうがよろしい。九時はネタ切れで、ノレンをおろしている時がある。



マダム・ド・コウベ②

## 大牧暁子さん

竹田洋太郎

わたくしは大学の受験勉強をしているとき、深夜になると必ずラジオ神戸（いまラジオ関西）のスイッチをひねったものです。すると、とても甘くて暖かい声の女性わたくしに話しかけてくるのです。ヨシ、大学を出てリッパなサラリーマンになったら、こんな声の女性と結婚しようと一生懸命努力して勉強しておかげで、まず志望校に入学できました。そのときのアナウンサーは大牧暁子さんとおっしゃる方です。

しかしその後もラジオ関西でよくお声を耳にしますがこんな声の女性にめぐり合わないの、いまだにわたくしは独身です。有難いような、かなしいような気持ちです……とまあ、こういった話をどこかで聞いたような気がする。いや、そうじゃなかったかな。大牧さんの声を聞いていたため勉強が手につかず、ついに三年浪人したという話だったかな。どちらでもよろしい。関西一円の受験生にとって大牧暁子という名は旺文社の赤尾好夫氏の名よりも親しまれた時期があったのである。私も当時、受験生だった。ホント。

神戸という土地が、オッチョコチョイの住む町であることは、安水稔和氏のうた「神戸っ子」にもあらわれているが、ここで生まれた、小じんまりとした民間放送のJOCRもなかなかオッチョコチョイ性を持ったものであった。いまはどんな放送局でもやっている「電話リクエスト」なるものも、ここが元祖だし「帰って来たヨッパライ」を流行させたのもここである。

そのJOCRが約十年前「ミドナイト・イン・コウベ」という深夜ディスク・ジョッキー番組をはじめた。その最初のDJが東京から、いかなる理由あつてか神戸にや

ってきた大牧さん。そのレコードの選曲に当たったのが「ジャズの末広」といわれたジャズのケンイの末広光夫さん。彼がいまのご亭主であるわけだから「ミドナイト・ラブ・イン・コウベ」となったのである。

ところで私、洋太郎、このご夫婦の担当の番組にちょいちょい引つ張り出されて、マイクの前でなにかしゃべらされる。私、本来気が弱くてマイク・アレルギーがあるの、すでに放送回数がかぞえ切れないのに、マイクの前にすわると、声帯の下ところにピンポン球、というより、スマートボールの球のようなものがハエてくる。しかし、そこは大牧さん、例の暖かい声で私に話しかけると、私のスマートボールがうまく消えてくれるのである。（大牧さんのほかにもう一人溶解力を持つ女性アナウンサーがあるが、その名は秘密）

彼女がフリーになって、こんどはテレビに主演とあいなった。大阪ガスのイメージを彼女が背負っていたのをご存知の方は多いはずだ。「ジャズの末広・ガスの大牧」などと、失礼なキャッチフレーズをバラまいたのは私だが「大阪ガス」ならともかく「ガス」だけではイメージが悪いやね。

ちょうどそのころ、神戸っ子であるうちのヨメハンが大阪ガスの「アベック料理コンテスト」に応募したところ、出演しなさいといってきた。これは八百組の夫婦のうちから三組というので、決してサクラではない。そこで前号、この欄でご紹介させていただいた神戸「蛸の壺」の木村君子さんに一晩コーチをお願いしたのは、課題の料理が「タコ焼き」であったからである。

生まれてはじめてのテレビスタジオで、まるで自分が

プロデューサーのように勝手に動きまわってヨメハンにたしなめられたのも、実は大牧さんが司会者なので、緊張どころか、かえって嬉しくて、はしゃいでしまったからである。おはずかしい。

そしてこんにちにいたるまで、ご夫婦ともども、癖の悪い私の酒の相手になっていただけるとし、大学受験生の心をいまだに失わない私は「大牧のお姉さま」にひそかなあこがれをいただき、彼女の声に聞きほれる。

さて、この欄に登場願うに当たって、大牧さんにかがったところでは津田塾大学を卒業してから一学期間、男女共学の高校三年の英語の先生をしたという。そして

神戸に来て四日目に「ミッドナイト・イン・コウベ」に出るんだから、高校生をタブラカス（いや、親しく語りかける）くらい、なんでもないわけですよね。

大阪のあるテレビの関係者は彼女をさして「ベッティサン」という。これ、関西の人ならよくおわかりだろう。「ベティ・ブーブ」ではない。子供の好きなあのベッティさんである。そして二人の坊やがあるのに、いまだに高校生から「お姉さまは二十五、六歳と思います。そろそろおよめにいかれては」とファンレターがくるというから、女はいいもんです。

△写真は・マダム・オオマキ▽





☆☆☆☆☆☆ サントリー<純生>でスコール!! ☆☆☆☆☆☆



喫茶コーナーとバーラウンジ

飲みほうだい (サントリー純生ビール クラウン・コーラ) + 食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>



なごやかな  
ムード  
すばらしい  
眺望!

一品料理もあります 三宮交通センタービル9階 TEL ㊟3705-6

スカイサントリー



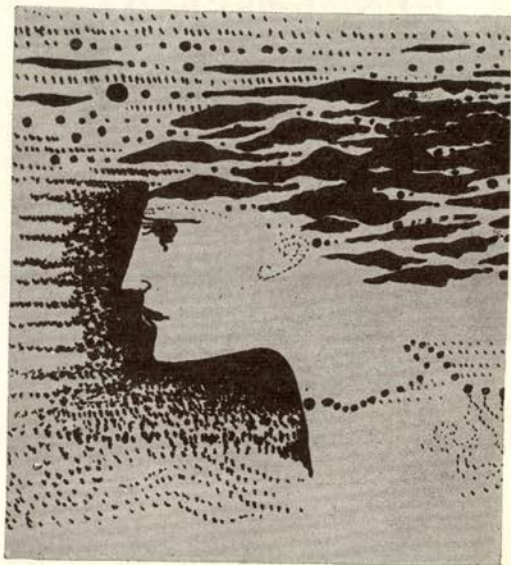
**OCB 加盟店**

年中無休

坂上 太佳子

神戸市生田区中山手通1丁目110  
PHONE <33> 5543・7831

神戸の気楽な雰囲気  
が  
楽しめます



CLUB

**露**

清水 よし子

生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515



創業明治二十八年

# 履物の山下

古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL ⑨ 0256

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

酒徒なれば  
だれもが選ぶ  
灘の生一本  
大黒正宗



## 清酒 大黒正宗

安福又四郎商店醸

高級きものとおび  
しみぬき・活洗専門店



 平野  
つるや本店

兵庫区神田町125

(家庭裁判所前東1丁)

TEL ④ 6932

色・味・香り

三つ揃った

灘の生一本

清酒

# キンロ

■神戸市東灘区魚崎町魚崎356  
金露酒造株式会社



## ●神戸百店会だより

★ちんがら屋春のきもの  
モード展開く



センター街のちんがら屋が、春のきものモード展を2月2日オリエンタルホテル大ホールで開いた。会場は卒業、入学シーズンを迎えてお母さん方のおしゃれ準備のせいか例年より多い入出。社長の三角常夫氏に最近のきもの情報をお聞きした。「ボンンドシヨックだ、ドル防衛だといっておられますので心配していたのですが、影響はぜんぜんなく例年より上廻って満員の盛況でした。最近、数年



前にくらべると、お客さま

の目がぐっと洗練されて、色目が変わった、個性的なクセのあるものを選ばれるようになりました。また洋服の感覚で、グリーンを基調にしたきものを色々そろえましたが、大変好評です。

明治百年を迎えたせいか今年は模様は古典調で、色目が近代色といった傾向です。次はゴールドを基調にやってみるつもり。またオリジナルの広重の東海道能、源氏物語などを毎秋発表しましたが、今秋は「歌舞伎」をテーマにとりくんでいます。またその次は万博と今から色々プランを練っているんです。楽しみにしていて下さい」と、もう秋のきものモードの準備へ心は飛んでいるかのようであった。秋の展示会が待たれている。

### ★元町二丁目的一部

#### 共同建築のビルに

元町二丁目的一部(中華料理店真美園―正直屋が)

今度、共同建築のビルに変わることになり、十二月完成を目標に目下設計を急いでいる。

これは、防災建築街区造成法に基き、防災会(現理事長西門佐太郎氏)神戸屋洋品店)を中心に、市の助成を得て建て直しを練っているもの。

個々の無駄を省くためと防災の面で、共同ビル建設となり、対象となるのは約三十戸。ビルの地下も商店街にしようという構想中で、出来れば地下に約四十店の店が入れるという。

百店会の店「北村真珠」「シラサ」「タジマ」「寿本舗」がこの中に含まれてるが、完成まで前面に仮店舗を出して、従来通り営業することになっている。

### ★ふり袖謝恩会大流行

春の卒業式シーズンが近づいて、オリエンタルホテルでは3月15〜25日の期間中、松蔭、山手、武庫川など女子大が沢山のふり袖謝恩会をくりひろげる。今や神戸大学の野郎どもまでオリエンタルホテルで謝恩会をするという学部もあるというから、女性の影響力は、ここにも強しという感がある。

△写真真はちんがら屋の春のモード展▽

### ★百店会トビックス

★元町通三丁目の「高橋靴本店」は、三月一日より装いもあらたに旅行鞆、ハンドバッグなどとともに、ゴルフ用品のすべてを豊富に揃えて開店いたします。ぜひお立ち下さい。

★三宮神社前の「マキシン美容室」では、このほど経営者が代わり、それに伴ない、名称も二月三日より、「美容室エリザベス」となりましたが、店内も近代的に改装しておりますが、従業員はものまま。いままでどおりよろしくお願ひいたします。

★「UCC上島コーヒ本社」では昨秋十一月九日、九州小倉駅前UCWエシマコーヒショウプ小倉駅前支店を開店しましたが、早くも小倉っ子の人気を呼んでいます。

★「セリザワ」では、目下「Shirley mode Collection」を開催中。Tシャツ商品はスーツとコートで、スーツはブライダルシーズンを前に、レースとエンブroideryのものが多い。コートはドレッシングなおしゃれコートからスポーティな船業のレインコートまでいろいろオリジナル商品を集めて展示してあります。

★「ムラタ」では三月二十一、二十二日の二日間、ミニゴートホテル二階で、春・夏もの新着発表会を催します。

★「田崎真珠」では三月十一、十二、十三日の三日間、大阪新阪急ビル・スイイルームで「春の新作発表会」を開催します。

また三月二十八、二十九、三十日の三日間にも、オリエンタルホテル二階で同じ催しを行います。ブローチ、リング、ネットレスなどが豊富に揃っています。

★元町二丁目の「タジマ」では、共同ビル建設工事のため、事務所を東亜ビル8階に移転しています。店の方は従来と同じ場所の仮店舗で営業しています。



# ポケットジャーナル



## ★市民情報五〇〇号発刊

市民同友会の機関誌「市民情報」が、一月二十一日号で五〇〇回を記録した。十九周年にあたる。市民同友会は、会費さえ納めれば入会規約で、財政は全て会費でまかなうヒモツキなし



市民情報 500号と創刊号

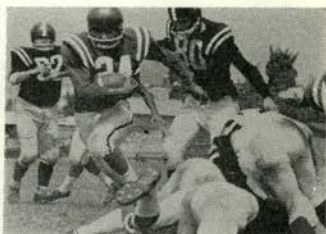
の市民団体であり、会員の意見の公約数から実践的な、市民運動も展開。目標は「市民社会の確立」においている。原稿もはじき出せない——というこの市民同友会の「市民情報」が、五〇〇号を迎えたことは、神戸市民として地域文化の核となりえた、良心がそれ

を支えてきたといえよう。第一号が附録としてそえられているが、国内外と郷土の時評が卒直に記されている。五〇〇号には、オールド会員の逸脱を憂うという社説がトップを飾っている反面、若い世代の座談会では若い人の多様化が語られ、またコラム「この一句」では、日本ではなにもかもが「流行」で終る風潮を指摘している。この五〇〇号間の歴史をみて、現代の都市生活において、ますます市民同友会のような文化核としての主張が導ばれ、市民の自主的な会が、精神的なよりどころとなり得るのではなからうか。幅広いくなった会員層のふれあいのなかから、今年もまた何が生れるか、期待したい。

## ★日本で初のアメリカンフットボール写真展

雑誌アメリカンフットボールコーナーに、いつもダイナミックな写真を寄せて誌上でアメリカンを楽しませてくれていた林総さん（三菱重工神戸造船所、資

材部造船購買課勤務）の写真展が、三月二十一日から四月二日までの一週間、さるんちか三菱ホームコーナーの三菱ギャラリーで開催される。



林氏のアメリカンの写真作品より

作品は三十点の予定で、アメリカン・フットボールの写真ばかりを一堂に集めて展示するのは、日本でも初めてという試み。まだまだ一般の人には馴染みの薄いアメリカンを、昨秋の甲子園ボウル関西三連勝という輝かしい記録を打ち立てたのを機会に、一人でも多くの人にそのダイゴ味を写真からでも味わってもらったという周囲の勧めもあった。数多くの写真の中から三十点を選んで展示することになったもの。

林さんは、昭和三十年関西学院在学中から、アメリカンの魅力にとりつかれ、以来十二年間、関西で行なわれる試合には必ず出かけ、また東京でしか行なわれないライスボウル（全関西—全関西）にも必ず上京

## 誕生日 ありがとう



「誕生日ありがとう運動」とは百名中三〜四名は必ず出現するといわれている精神薄弱児（者）とその家族の方々には、わたしたち一人一人が正しい理解と愛情を持つことをモットーとして生れた運動です。

いつでも、まだまだ一般の人の精神児（者）、あるいは施設に対する認識は浅く、本部では年間計画の中に施設見学会を必ず入れ、一般の方の正しい理解と関心を呼びもと努力しております。今年もこのバスマ見学会を三月に計画しております。詳細は左記のとおり。

一、日時 三月十七日（日）

一、目的地 雨天決行  
三田谷治療教育院、砂子寮育院、武庫川児童園

一、講師 伊藤隆二氏

一、費用 三百円（昼食各自持参）

一、定員 七十名  
（定員に達し次第締切）

一、集合 午前八時三十分  
三宮新聞会館山側バス停

一、申込方法  
住所氏名を明記の上、費用を添えて申し込んで下さい。（受理した費用は返済致しかねますのでご承知お願います）

一、申込と問合せ  
誕生日ありがとう運動事務局  
神戸市東灘区小野町通二の五  
修近（二二）一五五九

一、運営 誕生日ありがとう運動  
神戸市東灘区小野町通二の五  
修近（二二）一五五九

一、見学のあと 施設長と講師を中心  
にいろいろ話し合います。

一、多数の参加をお願いします。

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

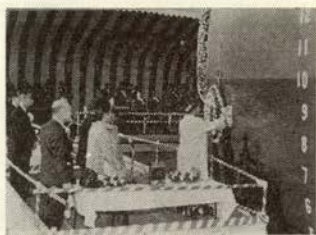
一、



してゲーム写真を撮るとい  
う熱狂的なファン。学生時  
代最後のライオン・ポウルに  
は、風邪をこじらせて四十  
度からの高熱を出していた  
にもかかわらず「選手の手交  
代はいるがオレの代わりは  
おらん」とおぼの止めるの  
も聞かず裏口から飛び出し  
たというエピソードの持ち  
主。

その執念とまでいえるカ  
メラ・アイで捉えた作品は  
昨秋の神戸市主催「神戸市  
勤労者美術展」の写真の部  
で奨励賞を受賞するなど、  
高く評価されている。

### ★三菱重工神戸造船所で インド式進水式



マンジを書き込むサリタ嬢

わが国では珍しいインド  
式の進水式が、一月二十七  
日午前八時から、三菱重工  
神戸造船所第二船台で行な  
われた。

船は、バハマのチョーグ  
ル社から同社が受注してい  
たら積み貨物船「マラサ  
・エンボイ」(約二六、四  
五〇重量トン)。チョーグ  
ル社の社長、V・D・チ

ーグル氏がインド人で、ヒ  
ンズー教徒であるところか  
ら、このインド式進水式が  
行なわれたもので、これは  
わが国でも珍しく、三菱  
重工神戸造船所では八年ぶ  
り。

進水式には、チョーグル  
社長夫妻、令嬢サリタさん  
らが列席。船のそばまで突  
き出した補助式台からサリタ  
さんが、「聖なる火と煙」で  
船体をきよめたあとで、イ  
ンド独特の塗料を指につけ  
て、船首左げんに下し、梵字  
で功德円満を表わす「マン  
ジ」を書き込む。続いてチ  
ョーグル社長親子でヤンの  
実を船首にあてて割る。次  
いでイギリス、インド、日  
本の各国歌吹奏、サリタさ  
んの命名、支綱切断、進水  
といった順序で式は進めら  
れた。

なお「マラサ・エンボ  
イ」の意味は「マラサ」が  
十七世紀のインドで勇名を  
とどろかせたマラータ族の  
こと。また「エンボイ」と  
は特使の意味だという。

### ★さんちか広場で

第十三回神戸二紀展  
毎年開かれていた神戸二  
紀展が、今年はさんちかカ  
サルのさんちか広場で開催  
され、評判を呼んだ。

二月八日から十三日まで  
神戸二紀会のメンバーの作  
品、約七十点が一堂に集め  
られた会場は、連日、若い  
人からお年寄り、ショッピ  
ング途中の人などでにぎわ  
った。



好評だった「絵のある広場」

これは今まで画廊や催し  
場などで行っていたのを、  
今回はできるだけ多くの人  
に観てもらおうということ  
から、さんちか広場を「絵  
のある広場」として作品展  
示を行なったもので空間を  
利用した作品数点が観覧者  
の目を引いていた。後援は  
さんちかタウン。

同時に、同会員の描いた  
色紙の即売もされ、売的上  
げはそっくりそのまま社会  
福祉施設へ寄贈された。

### ★ラジオ関西へ里帰りした フオーク・クルセーダース

「おらは死んじまっただ」と  
日本中またたく間に大流  
行した「帰ってきたヨッパ  
ライ」。ご存知、生みの親  
はラジオ関西の電リクだが  
2月4日さんちかサテスタ  
に、人気者フオーク・クル  
セーダースの面々が、里帰  
り放送をした。このヒット  
曲のおかげで、ラジオ関西

の「電話リクエスト」は、  
新聞、週刊誌に大々的に報  
道されて、看板番組に、ま  
たまたハクをつけたわけ。  
2月1日創刊のラジオ関西

### ★ドライブ・メモ 川口 陽之 △自動車評論家▽

今年も、物価の値上がりには、  
さっぱりブレーキがかかりそうで  
ない。値下がりの方は自動車以外  
は、ブレーキのかかりっぱなしで  
ある。

自動車はだんだん安くなりそう  
である(価格はあまり下がらな  
くても、性能、構造面で実質的には  
相当安くなってくるだろう)。と  
ころが、自動車のブレーキも同じ  
で、最近の乗用車のブレーキはす  
べて、前進には非常によく効くよ  
うな構造に改良されていて、逆に  
バックのときの制動力は一〇パー  
セントから二〇パーセントに劣っ  
ている。これはブレーキドラムと  
いう円筒の内部に押しつけるシム  
の働き方の具合で、そうなっ  
てしまったのである。運転免許証を  
とりたてのマイカー・ドリフトパー  
は、車をバックさせていてよく車  
をこすっただけで傷をつける。これはパ  
ックのテクニクが下手だ、とい  
うことだけではなく、バックのと  
きのブレーキの効きが悪いので、  
前へ走っている時と同じ調子でブ  
レーキペダルを踏むと、止まると  
思っていた所よりも、どうしても  
行き過ぎてしまうようなことがあ  
って、失敗するのである。また最  
近のマイカーのブレーキは、ほと  
んどが自動調整式になっている  
で、一万キロぐらいは、人為的な  
ブレーキ調整は不要になってい  
る。自動調整式のブレーキが、自  
動的調整されるのは、たいていの  
車だが、バックの時にブレーキを  
かけたら、シムがうまく開くよう  
になっている。ブレーキペダルの  
踏みしろが深く、一度ブレーキ  
ペダルを強く踏むと、ブレーキ  
ペダルが上の方にあがってくる。







電リクのスポンサー「コトブキ」で演奏するメンバー

の個人誌「自由席」(発行人・神戸市須磨区行幸町一ノ一・ラジオ関西内、神楽越郷)には、昭和元禄時代の鼻唄が「帰って来たヨッパライ」だと土佐啓太氏が書いています。そしてこの歌が関西から発生した事実。これは新しいものは、すべて関西から発生し、東京か

ら全国津々浦々へ、というジンクスをあらためて実証した。アルサロ、お好み焼き、タコ焼きなど伝説化していた日本的なパターンがまた再現された」と。それよりもヒット曲はテレビの方が、チャンス・メーカであるのは面白い。

★織田正吉著「ユーモア・スピーチ術」発刊さる

最近やたらと多くなつたのがテーブル・スピーチをやらされる機会。そのよしあしで、その場の雰囲気が大いに左右される。そんな悩みを親切に答えてくれる本が、このほど出版された。織田正吉氏(放送作家)の「ユーモア・スピーチ術」である。「型どおりのスピーチで人々のあくびを誘う

よりも、ユーモアやウィットのあるスピーチでこころよい笑いを呼ぶことができれば」と、氏はスピーチの中のユーモア、ウィット、一話材の選び方、表現法、ユーモアスピーチの例などを、できるだけ多く具体的に書いて説明している。読むと吹き出すような話



が満載されていて楽しめるし、また「スピーチにはもたのしいものにするため」にもユーモアを解する人には必読の書といえよう。六月社刊 三〇〇円

花時計



★神戸カーニバルを市民祭にしよう

神戸開港一〇〇年を記念して、神戸カーニバルが昨年盛大に開かれたのはまだ記憶に新しい。このカーニバルは神戸っ子の気質にぴったりで

空前の大盛況になって、全国にこの祭りが喧伝されて、ハイセンス神戸のP・Rにも大きな役割を果たした。

世界のカーニバルとして名高いのは、ブラジルのリオ・カーニバル。

在神のブラジルっ子たちも大歓迎、今年も開かれるリオのカーニバル(2月22日、24日)お国をのんでカーニバルパーティーを3月2日に開こうという話がちあがっている。

これをききつけた、在日ブラジル人たちも大感激、東京、大阪からも集まることになって、神戸カーニバルの前・前・前夜祭が賑やかに開かれそうだ。

神戸カーニバルの企画も着々と進められていて今年には5月3日から5日まで三日間が神戸カーニバルの日となった。

——やっと思つつけた、神戸らしい、このお祭りを市民の手で育てよう——

△Y△

★KORUMビーコーナー「最高にしあわせ」

「メリー・ポピンズ」でアナデミー賞を受賞したシャーマン兄弟が手がけた、すばらしい歌の12曲魅惑的なミュージカル・シーンが80分以上……

数々の奇行と常識はずれの趣味道楽で名を轟かせた一代の快傑、フィラデルフィアの大金持、ビドル氏の家庭を背景に、タバコ王の後継ぎ息子アンジー・デュロクとウルトラ・モダンな結婚を敢行してアメリカ中を沸かせたビドル氏の愛娘コーディアアのロマンス自叙伝をデイズニーが最高にしあわせな歌とダンスとユーモアいっぱい映画化した、文字どおり



最高にしあわせ」なミュージカルこの「最高にしあわせ」な若きカップルにレスリー・アン・ウォーレンとジョン・デヴィッドソンがコンビを組み、ビドル氏夫妻にフレッド・マクマレー、グリア・ガーストン、執事のジョン・トミー・ステイラーをはじめ、ジュラルディン・ベイジ、グラディス・クーパー等のベテランが競演、作品を盛り上げています。

●神戸っ子愛読者の方に、毎月抽選で十名様をOS劇場特別試写会へご招待いたします。

毎月十日までに、「〇月分OS特別試写会申し込み」とお書きの上、編集部宛葉書でお申し込み下さい。

早春

明るい

暖かい

お座敷で

御商談

御宴会・囲碁会・

マージャンに

御利用下さい

リンゴ酢と蜂蜜で

腕をふるった

新しい「味」

このおいしさが

美容と健康にプラスします

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮭の又半

電話・三の宮 ㊦ 0935



肌寒い日にはまだ鍋物を召上る方が多いのです。

▲鮮魚のちり鍋、

▲神戸肉のじゃぶじゃぶ、バター焼。

つくし、わらびなど季節の

御会席料理も味って下さいまし

抽象画のある一、〇〇〇円より

料理  
旅館

青坂

神戸 中山手四

TEL ㊦ 7836, 7846,